行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	小土地改良事業	担当課	農林課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	環境と調和した農林業の振興
	施策	農林業生産基盤の整備
関連する個別計画等		根拠条例等：土地改良法

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	農道拡幅、用排水路整備を実施し生産基盤を強化することにより、耕作放棄地の解消及び、維持管理の省力化を図り、農業生産性の向上に繋がることを目的とする。
事業の手段	農業用施設の老朽化が進んでいるため、地区からの改修要望に基づいて事業効果、危険度の高い箇所を判断し、請負工事、維持工事、7割補助、原材料支給などを活用し、順次実施しているところであります。 また、補助事業に適合される箇所については積極的に取り入れ有効活用している。
事業の対象	農業用施設を利用する市民

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	80,835	80,734	63,794
財源内訳	国・県支出金	22,573	16,883	17,449
	その他（使用料・借入金ほか）	1,048	476	0
	一般財源	57,214	63,375	46,345
B 担当職員数（職員 E）	（人）	1.54	1.54	1.52
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	9,996	10,463	10,207
D 総事業費(A+C)	（千円）	90,831	91,197	74,001
主な事業費用の説明				

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	基盤整備箇所全体延長	全整備延長（m）	1,939	2,044	1,354
	2		道路（m）	731	643	485
	3		水路（m）	1,208	1,401	869

妥当性		■ A 妥当である　□ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	道路については、幹線は請負工事、その他地元対応可能路線は原材料支給を活用し整備した。
	2	水路については、老朽化が激しく、事業効果の高い箇所の整備、また施設の延命化を図る修繕をした。
	3	

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	1 箇所当たりの整備費（千円）	事業費/整備箇所（千円）（63,794/38 箇所）	1,880	1,835	1,679
	2		道路（16,707/13 箇所）	1,332	1,527	1,285
	3		水路（47,087/25 箇所）	2,144	1,978	1,883

成 果		□ A 上がっている ■ B ほぼ上がっている □ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	地区からの要望を基に、緊急度の高い農道や農業用水路の改良修繕を行い、農家経営の省力化及び、農業生産性が向上しているので妥当である。
	2	緊急性の高い農業施設の改良修繕ができ成果が上がっているが、老朽化した施設が多く、地区要望が増大しているため効果が見えにくくなっている。
	3	

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成 ■ B 期待どおりに達成 □ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） □ 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） 緊急度が高く受益面積の大きな箇所については、国の補助事業（農業基盤整備促進事業等）を有効的に利用し整備するとともに、県営事業等を取り入れて事業実施できるよう地元地区に働きかけていく。また、軽微な箇所については地区活動の推進を行い、原材料の支給、7 割補助にて対応する。
過去の改善経過	予定していた箇所について工事実施し、地区の期待どおりに達成できた。
課長所見	地域からの要望を精査し、緊急性や他事業による対応での可否を検討したうえで、迅速に対応していく。